

10/28 event  
角館地区 第3回 菌田豊穰まつり

実りの秋を祝う

10月28日、菌田児童会館で「菌田豊穰まつり」が開催されました。

3回目の開催を迎えたこの豊穰祭り、地場農産物品評会への出品数も年々増加し、今年は農産物や工芸品など100点以上が出品されました。審査の結果、菅原清康さんの白菜（オリンピック）が仙北市長賞、草野貴美子さんの紙人形が白岩地域運営体会長賞を受賞し、その他、15点が受賞。いずれも見事な出来栄に、訪れた皆さんも感心していました。屋外では餅つきや地元産の小麦で作ったうどんの販売などもあり、収穫の秋を祝いました。



見事な出来栄の出品物

10/26 news  
仙北市 第39回 秋田県交通指導隊大会

6人の交通指導隊員が表彰

10月26日、秋田市文化会館で開催された第39回秋田県交通指導隊大会で、優良隊員として仙北市から交通指導隊員6人が表彰されました。

表彰式終了後、観閲式を行うため秋田市八橋多目的グラウンドに移動し、隊員の士気高揚を図り大会の幕を閉じました。

表彰者（敬称略）

【永年勤続20年以上優良隊員表彰】  
大澤 博公 阿部 正明

【満12年以上優良隊員表彰】  
下田 忠浩 津嶋 鉄男 高橋 利幸 三浦 信夫



秋田市八橋多目的グラウンドでの観閲式

10/26 news  
仙北市 秋田県老連創立50周年記念

秋田県老人クラブ大会

10月26日、秋田県民会館で秋田県老人クラブ大会が開催され、活動の推進や育成発展に尽力されたとして、仙北市老連（藤原剛会長・県老連副会長）の次の方々表彰されました。（敬称略）

全国老人クラブ連合会活動賞表彰

【ボランティア活動】

田沢湖地区老連 岡崎辰子クラブ会長 佐藤善郎

秋田県知事表彰

【老人福祉功績者】

田村貞良（田沢湖地区老連会長）

秋田県老人クラブ連合会会長表彰

【老人クラブ育成功労者】

加藤武尚（角館町地区老連 東雲クラブ会長）

【優良老人クラブ】

角館町地区老連 さくらクラブ会長 星宮忠清

【会員増強運動優良クラブ】

田沢湖地区老連 岡崎辰子クラブ会長 佐藤善郎

角館町地区老連 城東クラブ会長 佐藤正



クラブ活動に尽力された皆さん。（写真左上から順に）佐藤善郎さん、佐藤慶子さん、藤原剛さん、熊谷勇一郎さん、田口栄良さん、田村貞良さん、川村昭夫さん、加藤武尚さん、星宮忠清さん、佐藤正さん、赤倉正男さん。



秋田県老人クラブ連合会活動賞表彰

【健康づくり活動】

田沢湖地区老連 北部長寿クラブ会長 田口栄良

角館町地区老連 東雲クラブ会長 加藤武尚

秋田県老人クラブ連合会会長感謝状

【一円ポスト募金運動優良老人クラブ連合会】

田沢湖地区老連会長 田村貞良

西木町地区老連会長 赤倉正男

10/22 event  
角館地区 角館南高等学校

大曲養護学校との音楽交流会

音楽や踊りを通じて交流を図ろうと、10月22日に大曲養護学校（西嶋崇広校長）の高等部3年生20人が角館南高等学校（菅原明雅校長）を訪れ、交流会を行いました。

同養護学校生の迫力ある太鼓演奏のあと、角館南高生の吹奏楽部とインターアクト部の演奏や踊りが披露され、両校の生徒から「息のあった演奏に驚いた」「このような機会を持ってうれしく思う」などと感想が聞かれました。



伝統の「曲養太鼓」を披露する大曲養護学校高等部3年生

10/21 event  
角館地区 「川端龍子展—日本画家百穂との出会い—」記念講演

龍子作品とその背景を語る

現在、角館町平福記念美術館・角館樺細工伝承館・新潮社記念文学館の3館で開催されている「川端龍子展—日本画家百穂との出会い—」を記念し、10月21日、同伝承館を会場に講演が行われました。

講師の大田区立龍子記念館館長の平澤勘蔵氏が「川端龍子のめざしたもの」と題し、秋田県立近代美術館学芸主事の山本文志氏は「龍子と百穂 画人として朋友として」と題し、龍子の作品やその背景、関わりの深い人物などについて話され、来場者はその興味深い話に聞き入っていました。



角館町出身の平福百穂とゆかりの深い日本画家川端龍子について講演する平澤勘蔵氏

10/17 event  
西木地区 水土里ネット西木の施設見学会

西明寺小「水のはたらき」学ぶ

10月17日、西明寺小学校4年生を対象に、頭首工や上・下水道施設を見学しながら「水のはたらき」について学ぶ施設見学会が水土里ネット西木（西木土

地改良区 伊藤長三理事長）主催で行われました。

子どもたちは、宮田頭首工、西明寺高区浄水場、西明寺クリーンセンターを見学。各施設で水がどのように使われ、循環しているかなどの説明を受け、水の大切さや地域の環境について学びました。

子どもたちが書いた見学会の感想文の中から、一つ紹介します。



宮田頭首工の管理橋から勢いよく流れる水を見学

「水のはたらき」の見学に行つて  
堀 詩桜

十月十七日、頭首工見学に行つて分かつたことは、取水口の深さがたいたい二メートル位ということ、雨がふつたりして取水口の水が多くなつたりすると、ゲートという所を上げて、川の流れをよくするという事です。

管理室には、電気と水位のメーターがありまして、その部屋には、小さな時計のようなものがたくさんありました。

下水処理場にも行きました。そこでは、家庭などで使われてきたなくなった水をきれいにして川にもどす役目をしているそうです。

頭首工を見学に行つて思ったことは、自分たちの知らないいろいろな人たちがはたらいてくれているから、きれいなおいしい水が飲めるんだと思います。だからその人たちが仕事をしやすいようにしていきたいです。かんきょうにいいことを考えていきたいと思いました。

（原文のとおり）